

2021年度 第7回例会(Webinar)

(Part1)「気候変動が生命保険と医療保険に与える影響」

(Part2)「損害再保険に対する物理的な気候変動リスクの影響の評価」

※本案内公開当初より講演テーマの順序が入れ替わっております

(Part1)

気候変動は世界的なトレンドであり、人間の健康に直接的・間接的に広範囲な影響を及ぼします。これらの影響を理解することで、保険会社は、影響を受ける可能性のある気候変動の結果と保険商品の組み合わせを選択することができます。保険数理の観点から、保険ポートフォリオへの長期的な影響のモデリング、新商品の設計とプライシングの検討、不利なストレステストを実行するための適切なシナリオの選択など、考慮すべきいくつかの関連分野があります。生命保険会社や医療保険会社のビジネスモデルは、顧客のウェルビーイングを中心としており、気候変動によって形成された世界でお客様のレジリエンス構築をサポートすることは、保険業界のパーパスとして認識すべき課題です。

(Part 2)

海は温暖化し、温暖化が拡大することにより海面を上昇させ、沿岸都市を危険にさらしています。海の温暖化はまた、台風がより遠くまで移動することを可能にし、移住者の増加によって急成長している都市にも大きな被害を与えます。年間数十億ドル規模の気象損害が発生し、損害保険業界の収益が低下していることがわかります。また、温暖化した気候で水文気象学的な危険がどのように反応するかを調査する科学的研究も増えています。気候リスクの移転は数十億ドル規模の産業であり、技術と科学の大幅な進歩を遂げている状況下において、リスクの定量化を事業とする専門家の私たちは皆、リスク移転交渉において気候トレンドの評価を一般的にするのを支援する上で重要な役割を果たします。このセッションでは、観察およびモデル化されたトレンドをプライシングおよび損害再保険の購入にどのように組み込むことができるかについてのケーススタディを紹介いたします。

◆日時 : 2021年11月11日(木) 18:00 ~ 20:00

※例会のWebinar化に伴いまして、当日参加が難しい方のために、録画動画の再放送を実施します。再放送を視聴の場合も当日参加と同様に出席と見做して公式CPD単位を取得可能ですので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。再放送の日程は次の通りです。

【 11月24日(水) 18:00 ~ 20:00 】

再放送の参加方法等は前々日22日(月)の正午までに改めてご案内いたします。

◆会場 : ZoomによるWebinar開催 (定員 先着500名)

◆講師 : (Emerging Risks Ambassador, SCOR SE) Irene Merk 博士

(Head of Analytics & Governance, SCOR SE) Junaid Seria 氏

※英語での講演となります。当日は日本語通訳があります。(操作方法の詳細は別紙をご確認ください)

◆参加登録 : 別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(単位集計をより正確・簡易に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。

◆講演資料 : 当会会員ホームページからダウンロードしてください(11月4日(木)頃掲載予定 ※掲載後、講演当日～一週間以内を目安に確定版の資料に差替となる可能性があります)。

◆質疑応答 : QA・アンケートツールである「Slido」を使用します(詳細は別紙をご確認ください)。パソコンでライブ配信を視聴し、スマートフォンでSlidoを使用することをお勧めします。なお、「Zoom」のQ&Aにご入力いただいた質問も、例会事務局にて「Slido」へ転記します。

講師プロフィール



Irene Merk 博士

ドイツのアーヘン工科大学で物理学とコンピューターサイエンスの学位を取得しており、認定エンタープライズリスクアクチュアリーです。元々業剤師の家系から、人間の視覚系のモデリングで博士号を取得しましたが、2001年から再保険業界に加わりました。その後アクチュアリー資格を取り、再保険のR&D、プライシング、バリュエーション、マーケティング、引受、リスク管理においてさまざまな役割を果たしてきました。SCORでは、さまざまな「自己リスクとソルベンシー評価」やTCFDによる気候変動の開示など、世界規模の内部および外部のリスク報告とモニタリングを生命と医療再保険の側面からサポートしています。彼女は、リスク文化に特別な関心を持って、SCORの生命と医療の再保険部門の新興リスクプロセスを主導しています。また、CROフォーラムの新興リスクイニシアチブや、ドイツ保険数理協会のさまざまなワーキンググループで活躍しています。



Junaid Seria 氏

ロンドン、パリ、チューリッヒ、シカゴの地球科学者とアクチュアリーチームを率えています。チームの活動には、CATの研究、CATのモデルの評価/開発、CATの報告、ポートフォリオのプライシングの妥当性、モデルのガバナンスが含まれます。彼はアクチュアリーとして、過去15年間にわたり保険、再保険、コンサルティングの様々な役割を果たしてきました。また、EIOPA、ジュネーブ協会、イングランド銀行のPRAのワーキンググループでCATのモデリングと気候変動の専門家を務めています。